

平成26年1月31日(金)

資料

国際バカロレアの導入に関する検討案

高知西中学校(仮称)(入学定員80名)

高知西高校(入学定員280名)

平成30年度開校

平成33年度グローバル教育科を設置

1 学校の特徴

将来、グローバル社会で活躍できる人材としての基礎を身に付けるために、まず基礎学力の定着を図り、自ら考え、自ら課題を発見し解決できる素養を養う。また、コミュニケーションツールとしての英語の運用能力を高められる基礎を育成する。

2 教育内容

- 生徒が自ら考え、表現する場面に授業に多く取り入れた学習で思考力、判断力、表現力を育成する。(探究型学習)
 - ・ コミュニケーションの重視の授業
 - ・ プレゼンテーションなどの訓練
 - ・ 体験活動の充実(ボランティア活動など)
- ・ 国語、社会、数学、理科についてもIBの指導方法や評価方法を導入
- 英語の「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の能力を高め、高校で英語による授業にも対応できるよう基礎づくりをする。
 - ・ 多文化の理解(海外文学作品を取り扱う授業、国際交流行事の実施)
 - ・ 英語力の向上を目指し、TOEFL 57点(英検準2級相当)を取得することを目標
 - ※TOEFLは満点120点

※教育センターの協力校としてキャリア教育や英語教育の研究校の役割を担い、研究開発した成果を公立中学校に普及し、中学校教育の牽引役を果たす。

1 グローバル教育科(GE科) 80名

(1) 学科の特徴

将来のグローバル人材を目指し、国際バカロレアのDP資格の取得も視野に入れたカリキュラム。生徒の進路に応じて海外大学への進学もできる英語運用能力を育成。

(2) 教育内容

○中学校で学んだことを基に、生徒が自ら課題を発見し、課題解決に向けたプロセスを実践できる力を身に付ける学習を推進する。

1年生

プレディプロマプログラム(80名)

- ディプロマプログラムを見据えたカリキュラム
- 探究活動と探究論文
- 体験活動
- TOEFLを基軸とした英語指導
 - ・ TOEFL 70点以上(英検2級相当)の取得を目標

2, 3年生

グローバルプログラム(60名)

- グローバル問題に関する探究活動と探究論文
- 体験活動
 - ・ 海外の大学へ入学できるだけのTOEFL 80点以上(英検準1級相当)の取得を目標

ディプロマプログラム(20名)

- IBのカリキュラムを実施。

- 大学との連携(大阪大学、高知大学、高知工科大学、高知県立大学を予定、グローバル課題の提供、留学生との交流)
- 姉妹校への留学
- 海外での長期研修の充実

2 普通科(200名)

(1) 学科の特徴

グローバル教育の視点から探究活動や国際交流を充実する。

(2) 教育内容

1年生

- コミュニケーションを重視した授業
- 体験活動

2, 3年生

- 課題探究論文
- 文系、理系の類型を置き、生徒の進路実現を支援

- 大学との連携(大阪大学、高知大学、高知工科大学、高知県立大学を予定、グローバル課題の提供、留学生との交流)
- 姉妹校との交流(フレンズスクール)
- 海外研修の充実(オーストラリア2週間程度)

高知西高校で学んだ生徒が目指す姿

- 郷土を愛し、その発展に貢献できる人材
 - ・ グローバル人材としての素養を身に付け、地域や社会にも広く目を向け、課題を発見し、自ら解決策を探り、協働してその解決に取り組むことができる地域を支えるリーダーを育成する。
 - ・ 国内の国立大学をはじめ、生徒の進路実現に向けた進学できる力をもった生徒
- 高い志をもち高知から世界へチャレンジできる人材
 - ・ 高い志をもって世界に目を向け、社会をリードするグローバルリーダーとなる人材を育成する。
 - ・ 海外大学への進学も含めて、グローバル社会で活躍するために必要な素養と学力を身に付けた生徒

ディプロマプログラム(DP)とは

【DPの概要】

- DPでは、DP試験の結果に基づいて大学入学資格となるDP資格が授与される。
- DP資格は、45点満点のうち24点以上で認定
- 合格しなかった場合は、2年間再試験ができる。
- コア科目として、課題論文、知識の理論、創造性・活動・奉仕が必須科目である。
- 6領域(第1言語、第2言語、個人と社会、実験科学、数学、芸術)から一つずつ選択し、6科目の履修が必要。芸術に代えて、その他の領域から選択することができる。
 - * 6科目のうち、3科目は英語で実施。
- IBのシラバスに基づいて、授業を行う。
- DP認定試験は、5月と11月の2回実施している。
- 試験は、IBが指定する試験官が採点する。

【DP資格による大学進学の実績】

- DP資格は、イギリスでは大学の教養学部を修了したものと見なしているなど高い位置づけにある。
- 国公立大学では大阪大学、岡山大学でDP資格による入学が可能。今後、実施大学は増加する見込み。
- 国内IB校進学実績例(IBクラス20名弱)
 - <2013年の実績>
 - 早稲田大学、立命館大学、青山学院大学、玉川大学、明治大学、獨協大学、法政大学
 - クイーンズランド大学(豪)、ブリティッシュコロンビア大学(加)、セントアンドリュース大学(英)、ヨーク大学(英)、ファッションインスティテュート大学(米)
 - <これまでの実績>
 - ハーバード大学、エール大学、マサチューセッツ工科大学、コロンビア大学、ペンシルベニア大学、デューク大学、ロンドン大学、エジンバラ大学、トロント大学、カリフォルニア大学バークレー校など
 - * 国内IB校のホームページより

1 国際バカロレア(IB)とは

世界各国の卒業生に国際的に通用する大学入学資格を付与する仕組み。国際バカロレア機構(IBO)が運営。

【IBプログラム】

- IBには、年齢に応じて3つのプログラムがある。
 - ① PYP(初等教育プログラム): 3歳~12歳
 - ② MYP(中等教育プログラム): 中1~高1
 - ③ DP(ディプロマ・プログラム): 高2・3
- IBプログラムは、国際バカロレア機構(IBO)による高度な国際教育プログラムであり、厳格な学習評価を行う。

【基本理念】

- IB教育の目指す学習者像

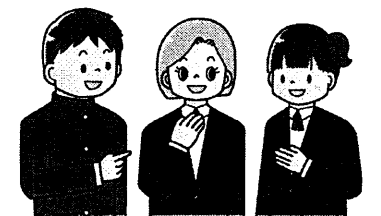
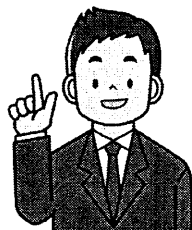
1 バランスのとれた人	6 心を開く人
2 思いやりのある人	7 道義心のある人
3 コミュニケーションができる人	8 振り返りができる人
4 探求する人	9 挑戦する人
5 知識のある人	10 考える人
- コミュニケーションの重視
 - ・ 全教員がコミュニケーションの教員としての授業を実施
 - ・ 数学および科学におけるコミュニケーション力の育成
 - ・ 構成力とプレゼンテーション力の育成
- 多文化の理解
 - ・ 海外文学作品を取り扱う授業
 - ・ 国際交流行事の実施
- ホリスティックな学習(全体的・包括的な学習)
 - ・ 重要概念を意識した授業
 - ・ 実際の社会とのつながりを考えた授業
 - * 知識を詰め込むのではなく、自分で学べる子どもを育てる。概念を理解することで、活用力を育成し、知識の質を大切にす。

【教科の評価】

- 教科毎にIBOによる評価規準が示されており、総合評価として7段階の評価をつける。
- 事前に評価規準を生徒に示し、課題には何が求められているかを生徒に示す。

2 IBの今後の方向性

- 文部科学省はIB認定校を今後5年間で200校に増やす計画を発表。
- 文部科学省による連絡協議会を立ち上げ、DPと学習指導要領との整合性を確保した教育課程の研究が行われている。



国際バカロレアのディプロマプログラム（DP）認定校へのスケジュール（案）

